

思い出いっぱい

汗をかき、真っ黒になるまで走り回った種をまき、土をいじり、収穫を喜んだ川で泳いだり、魚を捕まえたりした夢中になってクワガタを捕まえた日が暮れるまで、友達と遊んだ一あの日。

あのときの発見や感動を、覚えていますか。あのとき、どんな夢を抱いていましたか。あのときの体験は、今のあなたに何を与えてくれますか。



- 目次
- 02 風の人 山口神楽保存会
- 03 [特集]思い出いっぱい
- 10 市からのお知らせ 市立中学校再編成計画(原案)を策定/市長ひとこと
- 12 ニュース&トピックス 綾織地連協が道路功労者表彰/わらすっこ条例検討委員会を設置/全国や東北大会での活躍光る
- 13 スポーツ結果 第3回市内小学校水泳記録会/第42回市中総体水泳競技/第54回市民野球大会 ほか
- 14 学びのいずみ 市民の舞台スタッフ、キャスト募集/市民グラウンドゴルフ交流大会参加者募集/おすすめしたい本 ほか
- 16 まちの話題 大府市児童が遠野小を訪問/被爆体験者による講話開催/恒例の稲荷穴まつりを開催/いと愛菜さんコンサート/宮守郷土芸能夏まつり開催/地域トピックス(綾織町・土淵町)
- 18 ふれあい広場 わが家のアイドル/大きくなったら何になりたい?/サークルクラブ紹介/青春のトーク/ともに歩んで半世紀
- 20 おしらせ
- 22 保健福祉情報館 休日救急診療当番医/移動献血車/[新]わらすっこだより/おめでた/おくやみ など
- 23 市民カレンダー
- 24 遠野遺産 綾織しし踊り



上 石上神楽保存会の鈴木康男会長宅でけいこに励む山口神楽保存会の皆さん/左 愛宕神社の境内で伝統の舞を披露

26年ぶりに復活した神楽を絶やすことなくつなげたい

山口神楽保存会

やまぐちかぐらほぞんかい 綾織町



多田成年会長

二十六年ぶりに地元の神楽を復活させた綾織町の山口神楽保存会の皆さん。地元愛宕神社で行われる例祭に向けて、四歳から五十三歳までの十五人が額に汗をにじませながら、練習に励んでいた。

復活のきっかけは一年前、同神社の例祭で「神楽を復活させよう」という声が上がったこと。しかし、当時の神楽衆はすでに八十歳を超えている。そこで、石上神楽の弟子神楽でもあった

ことから、同保存会に指導を仰いだ。練習は毎週木曜の夜八時から一時間ほど。腰を低く落とした姿勢で舞う神楽は、五分も舞えば太ももが震え出す。振り付けも複雑で、一つの演目を習得するまでに実に三カ月を要した。「好きで集まっているので大変だとは思いません。今は四つ目の演目に挑戦しています」とこの一年の活動を振り返る山口神楽保存会の多田成年会長(53)。



◎表紙の写真

8月16日、附馬牛地区センターの近くを流れる猿ヶ石川で、先祖の霊を送る「舟っこ流し」が行われました。お盆をふるさとで過ごした人や地元の人たちは、過ぎ行く季節を惜しむかのように、燃え上がる舟と灯籠をいつまでも眺めていました。